

四万十市自治会アンケート ～結果報告資料～

四万十市区長会（総務課行政管理係内）
令和5年6月

アンケートの実施について

1 アンケートの目的

近年、少子高齢化、ライフスタイルの変化等により、自治会はその活動において様々な課題を抱えるようになったと言われており、今後市は市内の自治会が直面する諸課題の解決に向けて、支援を行っていくこととしております。その第1歩として、まずは自治会活動の現状・課題などを整理するため、市民向けアンケートを実施しました。

回答期間：令和5年5月2日～令和5年5月29日

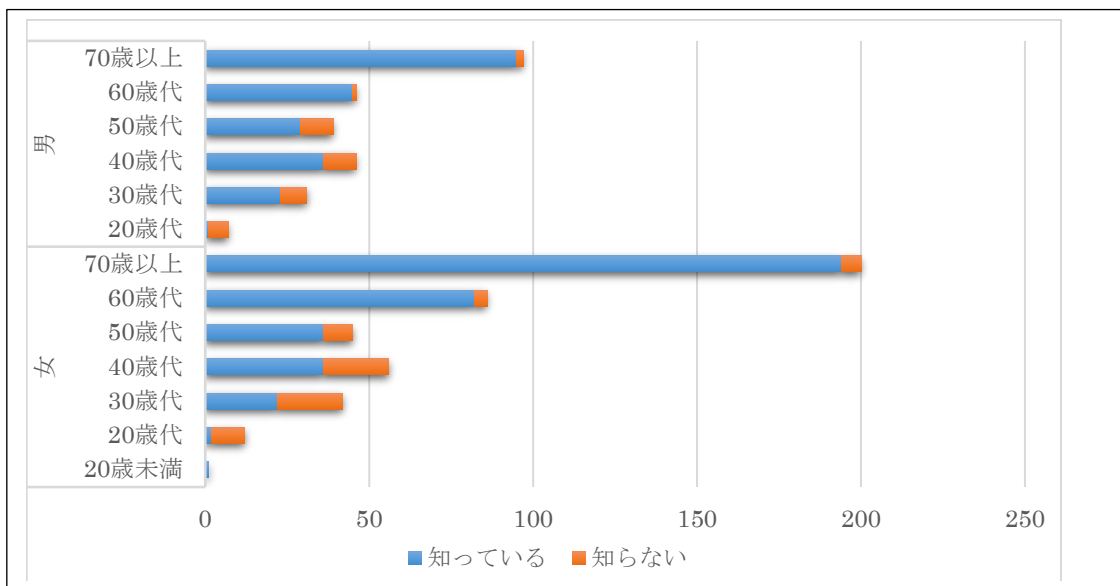
集計方法：Googleフォーム及びアンケート用紙

回答数：708人

2 アンケートの集計結果について

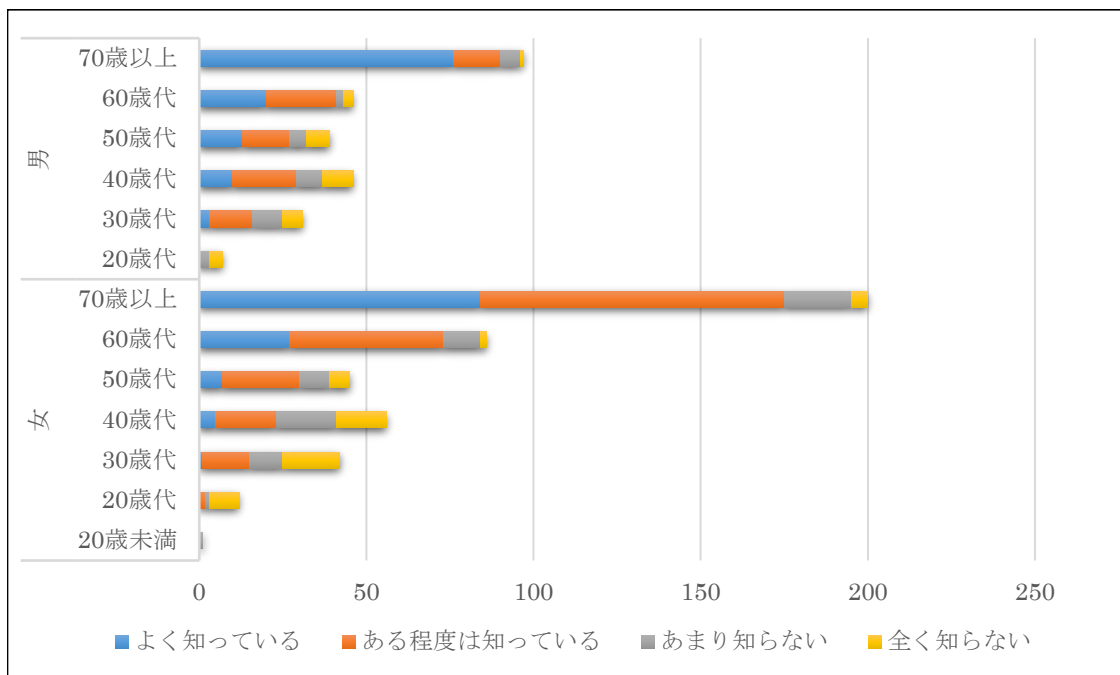
(1) 自治会への加入等について

① お住いの地区の区長さん（自治会の代表）をご存じですか？



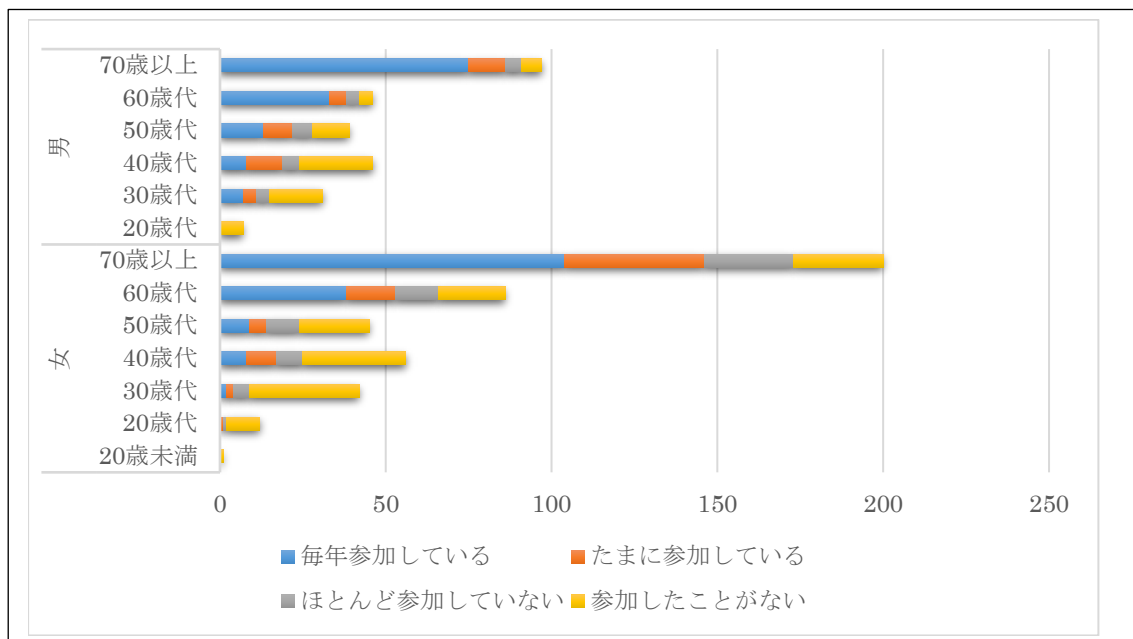
60代以上のほとんどが「知っている」と回答している一方で、50代以下では「知らない」と回答した者が一定数を占めている。特に20代及び30代女になると、「知らない」と回答した者が占める割合が過半数を超えている。

② お住いの地区の自治会がどのような活動を行っているか知っていますか？



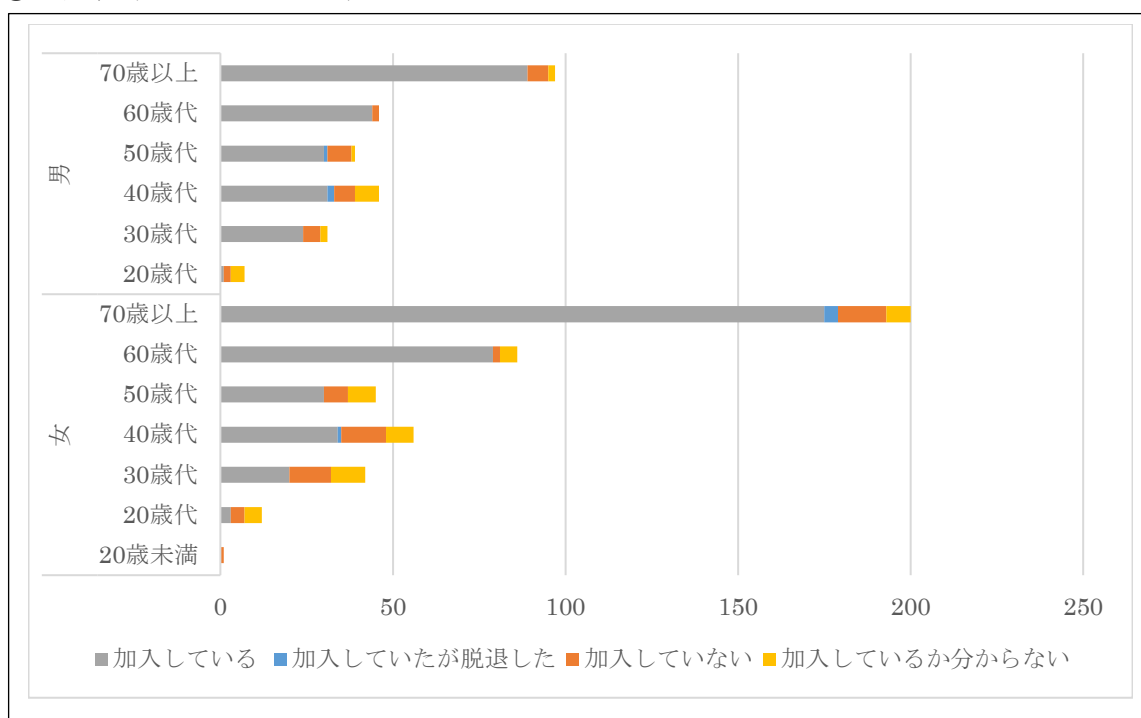
①と同様に、60代以上のほとんどが「よく知っている」、「ある程度は知っている」と回答している一方で、50代以下では「あまり知らない」、「全く知らない」と回答した者が一定数を占めている。特に40代女、30代以下になると、「全く知らない」と回答した者が占める割合が高くなっている。

③ 自治会の総会に参加したことはありますか？



①、②と同様に60代以上のほとんどが「毎年参加している」、「たまに参加している」と回答している一方で、50代以下になると「ほとんど参加していない」、「参加したことがない」と回答した者が一定数を占めている。特に30代女、20代以下になると、「参加したことがない」と回答した者の占める割合が著しく高くなっている。

④ 自治会へ加入していますか？

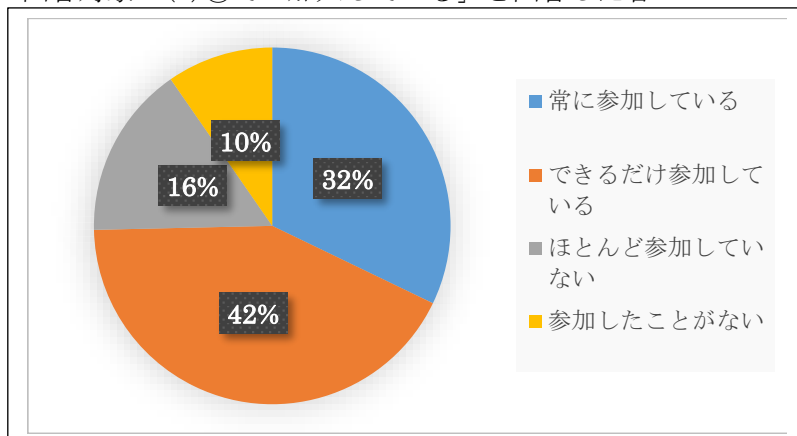


年代が下がるごとに加入率が低下しており、「加入しているか分からない」と回答した者が一定数いる。

(2) 自治会活動について

① 自治会活動に参加していますか？

回答対象：(1)④で「加入している」と回答した者



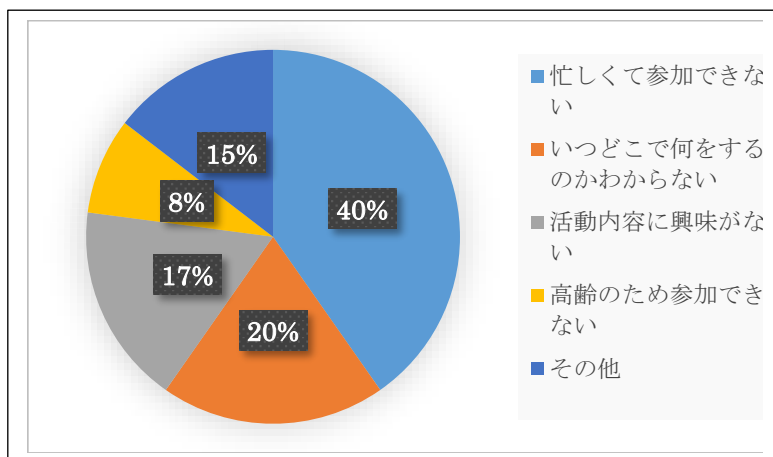
項目	回答者数
常に参加している	180
できるだけ参加している	238
ほとんど参加していない	88
参加したことがない	54

② 自治会に加入して良かったこと、期待していることはありますか？ ※複数回答可
回答対象：(2)①で「常に参加している」、「出来るだけ参加している」と回答した者

項目	回答者数
地区の住民と交流できる、仲良くなれる	355
回覧板によって情報を得ることができる	325
災害発生時に心強い	269
地区の行事に参加できる	249
行政への要望が自治会を通してできる	212
子ども同士や親同士のつながりが増える	78
その他	22

③ 自治会活動に参加していない理由はなんですか？ ※複数回答可

回答対象：(2)①で「ほとんど参加していない」、「参加したことがない」と回答した者



項目	回答者数
忙しくて参加できない	58
いつどこで何をやるかわからない	28
活動内容に興味がない	25
高齢のため参加できない	12
その他	21

「いつどこで何をやるかわからない」、「活動内容に興味がない」という回答が約4割を占めた。また、その他の主な理由には「家族の誰かが参加しているから」、「自治会の活動がない」、「自治会に入りたくないのに入らされているから」というものがあった。

④ 加入していない、脱退した理由は何ですか？ ※複数回答可
 回答対象：(1)④で「加入していない」、「加入していたが脱退した」と回答した者

項目	回答者数
加入の仕方が分からない	16
加入するメリットがない	31
勧誘されていない	35
区費（自治会費）が高い	13
班長などの役員を任されるのが嫌	15
何をしているか分からない	32
近所付き合いが煩わしい	15
自治会に関心がない	25
転勤による短期の居住であるため	4
仕事が忙しくて活動できない	24
高齢のため参加できない	10
個人情報を提供したくない	9
その他	10

「加入するメリットがない」、「自治会に関心がない」等の意見がある一方で、「加入の仕方が分からない」、「勧誘されていない」との回答が約2割を占めた。自治会加入の周知方法等の見直す必要があるのではないか。

⑤ 自治会に実施してもらいたい活動や強化してほしい活動は何ですか？ ※複数回答可

項目	回答者数
夜間パトロールなどの防犯活動	55
自主防災組織としての防災活動	205
高齢者に対する支援活動	279
子育てに関する支援活動	108
地域の清掃等の美化活動	177
運動会や祭りなどの親睦活動	96
話し合いの交流の場づくり	159
区費（自治会費）の減額	97
SNSやインターネットを活用した情報発信・共有	87
活動内容の見える化、透明化	131
若い世代が集まる機会	162
その他	25

「話し合いの交流の場づくり」、「活動内容の見える化、透明化」、「若い世代が集まる機会」の強化を望む声が一定数あった。また、「SNSやインターネットを活用した情報発信・共有」を望む声もあり、地区の活動が区民に伝わるように、SNS等での周知を検討してはどうか。

(3)自由記述

地区に電灯を構えたり、防災のワークショップを開いたりと積極的です。道路の穴などを舗装することにも取り組んでほしいです。
現在の社会のシステムに合わないので必要ない。
高齢者になり活動が負担になりました。
商店街なので区と振興組合、また女性部もあり活発に活動しているので、全く不満ありません。これからも続けて頑張りたいと思っています。若い世代がもっと交流を持てれば良いと思っています。
自治会としての活動は大切だと思うが、共働き子育て世代には重荷になる活動が多い。業務内容を見直して業務の内容の精算や簡略化をしてどのような世代にでもできるようにしないと担い手確保が難しくなると思う。
回覧板のメール化。選択可能にして欲しい。
ほぼ、強制的に加入させられているので、入る、入らないは個人の自由にしてもらいたい。
昔から住んでいる地区民が多いので親しい付き合いができています。また地区へ転入してきた人（住居を新築して）も自治会（地区会）へ参加してくる人が多いし良い状況だと思っている。
行事や会議の参加数が少ない。隣近所の繋がりが希薄になっているのは自治会よりも住民同士の関係を深めることも大事だと思う。
知らない人ばかりなので、自治会に参加することがとても抵抗があります。
情報の伝達は、SNSで十分。制約を受けるので広報誌の配布、班長の持ち回り、回覧板をやめて貰いたい。
今後、区民の減少と高齢化が進行する中で自治活動が困難になって行く事が予想され、行政の協力がより必要になる。
自治会は不要だ。田舎は古すぎる。10年100年時がズレていると日々感じる。どうしても自治会を存在させたいなら、市長の行動が広報などにのっているように、自治会の区長が何月何日何時からどこでなにをしたか行動を公表する必要があると感じる。
四万十市は地域の交流が良い意味で盛んで、親和性が高い方が多いです。チラシやQRコード等（自分から探しに行くのではなく、目につく所に情報を置く）で活動内容を知ることが出来ると、子供のいる忙しい家庭も参加しやすいように思います。
自治会は今の時代に必要ないと思う。若い世代は仕事で忙しいのに区長やら役員をやらされて困っている人が多数ではないか。役員の押し付けあいでしょうがなく引き受けて下さっているのが申し訳ない。LINE等で回覧板は代替して欲しい。毎回たいした内容でもないのにまわすのがめんどくさい。スマホ利用できない方には回覧板を残せば良いと思う。
コロナを理由に、秋祭りなどが中止になり、もうこのまま復活することなく終わりになりそうな雰囲気になっている。役員も高齢でめんどうなのは分かるが、地域の祭りは、自分の子供に体験させたい。
お互いに無理なく協力できる、支えあえることが大切だと思います。仕事をしていると、負担になることも多いため、負担にならない助け会える顔の見える関係作りが大切だと思います。これまでの自治会とは違う、新たな形づくりが必要かも知れません。
世代継承 役員改選など若い世代交代を求める
諸事情で参加出来なかった事を悪く言われているのでやめて欲しい
SNSでの発信があると、自分の都合の良い時間に見えるので助かります。
交流の場を増やし、子供から高齢者まで幅広い繋がりを作ることが、地区に興味を持つ第一歩になると思う。
転入の際にどの自治会の班？(自治会の名前)なのか教えていただきたい。自分はどこの自治会に所属するのか分からない。
参加や活動を強要されたくないです。
災害予防、特に高齢者の避難経路の確保や確認に重点を置いて今後起こりうる災害の備え、

<p>備蓄など</p> <p>上の意見だけを聞き入れその他の若者の意見に反対又は見向きもしない。そのような大人には活動して欲しくないと思っています。責任感をキチンと持って、やるならやる。やらないならやらない。しっかりと判断ができ、尚且つ地区を今以上により良くし若者から御年寄まで皆が生活しやすいように行動してくれるのが1番だと思っています。</p>
<p>若い人が居ないので、これから先が、気になります。特に防災。南海トラフの、心配も、有りますが、特に市から、自治会からの、いざというときの対策が、無いので、自分たちそれぞれが考えないといけない。会合に参加してなくても、どうしたら良いか？地震の時は？台風の時は？などこの地区に今居る人がどうしたら良いのか？分かる、標識が、有ると良いと思います。ハザードマップも、南海トラフ用を四万十市として、各地区に準備する事を、周知させて欲しい。津波も心配しておかないといけないと思います。四万十市は、大丈夫だと思っている人が多いですが、本当でしょうか？黒潮町が、その点は進んでいると思うので、四万十市も連携しながら、中村地区の、対応を、LINEでも良いし、自治会からでも良いし、お知らせお願いいたします。マグニチュード9の、想定して欲しいです。</p>
<p>環境美化や設備維持のため自治会(集金)は必要だと思いますが、新参者には活動への参加は難しいです。活動は必要だと思いますが、繋がりがたくはないです。</p>
<p>若い人の参加が少ない、現役世代はほとんど行事に参加しないので、子供から年寄りまで参加したくなる様な行事が提案できないか？</p>
<p>もっと公務員の方に積極的に参加して欲しい。</p>
<p>物騒な世の中になり、学生や子供たちが安心できる街作りを願う、街灯の整備や防犯カメラ等の整備また地域住民のコミュニケーションなどをよろしくお願いします。</p>
<p>私たちは県外移住者ですが、自治会活動に積極的に参加することで地域の方に覚えてもらいうい機会だと思っています。ただ高齢化の波で参加する世代も高齢化しており、地域で維持するには草刈りや道の舗装など困難があります。特に四万十市は道の舗装などに消極的で、いざ災害が起こるまで要望を出しても舗装してくれません。ライフラインである生活道路、水道は優先的に進めてもらいたい課題です。今後も移住者が快適に住めるようにこの声が届きますように。</p>
<p>同じ敷地に住んでいる義父が自治会に入っているため声がかからないのか、触れ合う機会がない。若い人は自治会の存在すら知らない人が多いと思うので周知に力を入れたら良いと思います。</p>
<p>地区の高齢化が進み若人の積極的参加が期待される昨今気軽に話し合える機会が出来る様に希望します。</p>
<p>現在は自治会も維持出来ているが・高齢化し担い手がだんだんいなくなり将来不安</p>
<p>次世代がほとんどいないので、引き継ぎをどうするか？不安があります。</p>
<p>従来自治会では活動が厳しい印象をうけています。</p>
<p>地区民相互の交流会等の実施を責極的に行って欲しい。</p>
<p>自治会の(役員)若返りを図るべき(総会・防災会への若者の出席)を促す。</p>
<p>役員のみ手がいないのが課題。今後高齢化に伴い、支え合い・防災など自治会活動は、ますます大事になってくる。自治活動はどうするか？どうあるべきか？検討が必要ではないか？</p>
<p>コロナも落ち着いてきたので、いろいろな場面での人の集えるコミュニケーションの出来る場を作り、ひきこもりや認知症にならないように明るく楽しく心も体も元気な高齢者を増やそう。若者も年輩者や幅広い方も交えた交流の場が必要。困難と決めつけず、仕事面や趣味の事など何でも話せる皆が楽しめる場を作り、四万十市の活性化に繋げたい。</p>
<p>地域社会が変化する今、移住者にわかりやすい説明等が必要かと思っています。</p>